

小学校 中 学年<3・4一(4) - 1>

学 年	3年 4年	時 間	短学活（帰りの会等の短学活で） 「救急クイズ！こんな時どうする？」	時 期	適時	時 数	時間にあわせて 10分～15分ずつ (4年は15分ずつ)
目 標	応急手当の正しい方法が分かり、災害時等いざというときに役立てることができる。						
資料・準備	ワークシート（消防庁「チャレンジ！防災48」）						

展開

	学習活動と内容	主な発問・指示(◇)	指導上の留意点	支援(○)	評価(☆)
導 入	1 自分が家族や大人の人と一緒にいないときにけがをしたときに、正しい応急手当を行う重要性を知る。	◇けがや病気になった時すぐに家族や大人に知らせますが、もし外でけがをした時、自分で間違った手当をすると、よけい具合(症状)がひどくなる場合があります。今から救急クイズをしながら、こんな時どうしたらいいのか考えてみましょう。	○ワークシートについて 時間や児童の発達段階を考慮して、一回に2問～5問を実施する。 (例) 3年→ 一回に2～3問ずつ、次回は、前時の復習をした後、次の問題を。 4年→ 一回に4問を夏季休業前に。 問題4は暖房器具を使い出す前に、実施済みの他の問題と併せて5問で実施。		
展 開	2 クイズ問題に挑戦する。		○(各)問題を教師が読み上げながら、ワークシートの該当箇所に丸(○)を付けるよう指示する。 ○グループになって、相談しながら解答を考えてもよい。 ○記憶が新しいうちに正解が聞けるように、1問ずつ答え合わせを行う。 ○問題の解説は、指導者用の解説を児童に分かりやすく読み上げる。		
ま と め	3 本時のまとめをする。		○再度、応急手当の重要性について説明し、実際に自分がけがをした場合や、けがや病気の人を発見した場合には、家族や近くの大人に知らせることを説明する。 ○帰ったら家の人にも教えてあげるよう約束する。		

関連する 教科・領域等	
協力団体	